

家族への想いを三行の詩で表現

町PTAが募集した三行詩の受賞者表彰

平成25年7月1日～9月3日の期間、「親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール」と題した三行詩の募集が行われ、優秀作品が選考されました。

役場応接室で同年12月24日、表彰式が行われ、小学校低学年部門、小学校高学年部門、中学生部

門の3部門でそれぞれ益城町賞を受賞した木村歩乃佳さん(飯野小)、渡邊涼音さん(広安小)、山本彩加さん(益城中)が住永町長から表彰状を受け取りました。町長は「どの作品も立派だった。これからも学業にスポーツに励んでほしい」と話しました。

最優秀作品紹介

【益城町賞】

● 小学校低学年部門

「おはよう。」「おやすみなさい。」「あいさつではじまって、あいさつでおわる。あたりまえだけどなんだかうれしいな。」

木村歩乃佳さん(飯野小2年)

● 小学校高学年部門

「あたたかな やさしい母の手にぎりしめ

不安な気持ちも安心に

渡邊涼音さん(広安小6年)

● 中学生部門

「きまりを守り、あいさつをする笑顔を増やして楽しい生活

3つがわが家のハッピールール

山本彩加さん(益城中1年)

【益城町教育委員会賞】

寺本大晴くん(益城中央小3年)

森上夏希さん(飯野小6年)

出田凌也くん(益城中2年)

【益城町PTA連絡協議会賞】

岡本咲真くん(津森小1年)

堀部友香さん(飯野小6年)

増永桃果さん(益城中2年)



益城町賞受賞者(前列右から山本さん、渡邊さん、木村さん)

三行詩の募集は、家族のきずなや家庭のルールを親子で考えるきっかけづくりにと、町PTA連絡協議会(吉川孝敏会長)が主催し、今回で2度目の開催。町内の小中学生から、昨年の約3倍にあたる49点もの作品の応募がありました。

ゴルフで特色づくり

津森みんなの広場落成式

津森校区に新しく誕生した「津森みんなの広場」の落成式が12月24日に行われました。式当日は、広場建設に協力した地元関係者をはじめ、地元出身でゴルフファターの永野竜太郎プロなど50人が出席しました。

町民の健康増進と憩いの場の創設、また災害時の緊急避難場所としても活用できます。住永町長は「地域のみなさんの協力で、用

地の提供、整地・芝張り・支柱建てなどができた。資材には永野プロが使っていたゴルフ場の資材を活用できた。立派な広場を特色のある地域づくりに役立てたい」と出席者に感謝を述べました。

資材を提供してくれた永野プロは「子どもからお年寄りまで、みんなの広場を楽しみたい」と完成を喜びました。



始球式でスイングを披露する永野プロ